

科目名	教職入門		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 児童教育学科		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

教育職員免許法に定められた教職科目である「教職の意義等に関する科目」として開設されます。

講義内容としては「教職の意義及び教員の役割」「教員の職務内容（研修、含む、及び身分保障等を含む）」「進路選択に資する各種の機会の提供等」を含む講座です。

小学校教員を目指す1年生（児童教育専攻）前期のみなさんと共に、教職科目のもっとも最初の学修内容として、「教師の仕事とは何か」ということを、さまざまな角度から学修することになります。

この科目を勉強したあと、教育の原理原則に関する科目（教育学概論）、教育の社会的事項に関する科目（学校関係法規）、教育の心理に関する科目（教育心理学）を学ぶことになります。

教職の基礎理論についての理解を深めること、教員や学校を取り巻く実情についての理解を深めること、受講生同士が討論したり、発表したり、その内容をもとに新たな課題を追求したりすることができるようになること、などがねらいです。

#### 内容

以下、取り上げる項目を挙げておきます（順不同）。

1. 教師の仕事とは
2. 教員免許制度
3. 教員の養成制度
4. 教員の採用
5. 女教師論
6. 学校とは
7. 学校と家庭
8. 学校と地域
9. 学級と学級経営
10. 授業の役割
11. 生徒指導の役割
12. 学校をめぐる法律・規則
13. 教師の職場としての学校
14. 教師の研修
15. まとめ

#### 評価

講義の際に書いてもらう学習票（20点）と、最終試験（80点）を総合して、単位を認定します。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】特に使用しません。プリントなどを随時配布します。

【推薦書】斎藤喜博編 『島小の女教師』 明治図書出版

斎藤喜博 『授業 子どもを変革すること（新装判）』 国土社

斎藤喜博 『君の可能性』 ちくま文庫

【参考図書】教室で随時紹介します。

科目名	教育学概論		
担当教員名	瀬川 大		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状/小学校教諭一種免許状		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

本科目は、教育職員免許法に定められた「教育の基礎理論に関する科目」のうち、その筆頭に挙げられた「教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想」を含む講義を行ないます。

これから4年間にわたって教職科目を受講していく、もっとも最初の1年生後期に「教育の基礎を学ぶ科目」として開講されます。1年の前期に学修した「教育者論」に続いて、先生になるための勉強をすることになります。

講義では、「教育とは何か」、「学校とは何か」、「教える・学ぶとはどういうことなのか」などの根源的な課題について、以下の内容項目にしたがって取り上げます。

教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想に関する基本事項に関する理解を深めること、受講生同士が討論しあったり、課題を追究したり、発表しあったりすることができること、テキストをもとに自己の課題を認識し、その内容を深めたり、研究したりすることができること、などがねらいです。

#### 内容

以下、講義内容を項目ごとに書いておきます(順不同)。

テキストの構成とほぼ重なっています。

1. 学ぶことと教えること
2. 育つことと育てること
3. 学校の登場
4. 近代学校の性格
5. 日本の学校
6. 学力とは何か
7. 教科と道德教育
8. 教育の内容と方法
9. 教育評価
10. 学校の可能性
11. 青年の教育
12. 生涯学習と社会教育
13. 子どもの権利とは何か
14. 十文字学園の創設と近代女子教育の流れ
15. まとめ

#### 評価

講義で毎回書いてもらう小レポート(20点)、試験(80点)などを総合して評価します。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【使用テキスト(教科書)】田嶋一他著 『やさしい教育原理(新版)』 有斐閣アルマ

【推薦書】 斎藤喜博 『授業入門（新装判）』 国土社  
ルソー 『エミール（改版）上』 岩波文庫  
シング 『狼に育てられた子』 福村出版

【参考図書】 テキストの参考文献の他、教室で紹介します。

科目名	教育心理学		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生) - 児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

## ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

### 科目の性格

教職に関する科目のうち、教育の基礎理論についての理解を深める科目である。

### 科目の概要

教職志望の初学者を主な対象として、学習の過程、および児童生徒の心身の発達について、教育心理学的な知見を学ぶとともに、学校教育現場における具体的な問題についての理解を深める。障害をもった子どもたちの発達、および特別な支援のあり方についても取り扱う。児童・生徒であった、そして学生である受講生に対して、「教える」、「学ばせる」、「学びを支援する」という「教師の立場」から、教育・指導や学習活動を客観的かつ分析的な視点からとらえようとする態度を育むことを目指す。

### 学修目標

教育心理学的な考え方や知識に基づいて、学校教育における学習活動の客観的に理解することができる。さらに、よりよい学習活動を展開するための工夫や特別な支援を必要とする子どもたちの学習活動のあり方について、心理学的知見に基づいて具体的に考えることができるようになる。

## 内容

1. 教育心理学と学校教育
2. 学習の動機づけ(1) 動機づけのメカニズム、内的欲求
3. 学習の動機づけ(2) 内発的動機づけと外発的動機づけ
4. 学習の基礎理論
5. 教授学習における学習理論
6. 協同学習の理論と実践
7. 学級の心理学
8. 学習の個性化、個別的ニーズへの対応
9. 教育評価
10. 発達(1) 発達の一般的特徴、発達を規定する要因
11. 発達(2) 発達段階と発達課題
12. 学習者の特性理解(1) 知的能力の発達と測定
13. 学習者の特性理解(2) パーソナリティの理論と測定
14. 学習者の特性理解(3) 障がいに応じた特別支援教育
15. 学習のまとめと確認

## 評価

筆記試験：90点，授業内課題10点の計100点で、60点以上を合格とする。

## 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教職ガイダンス等で指示します。

科目名	学校関係法規		
担当教員名	黒瀬 任通、廣坂 多美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 児童教育学科		
学 年	1,2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

#### 科目の性格

法と制度の観点から、学校教育を成り立たせている仕組みや社会的背景について認識を深め、現代の教育及び学校における諸問題を考察する視点を得ることである。

#### 科目の概要

学校教育を法と制度の観点から見ることは、実際の社会的現実の中で学校教育が果たしている役割に目を向けることになり、学校教育の役割が制度として理解できることである。

基本的な学校関係法規について扱う中で、わが国の学校教育についての理解を深めるとともに、近年の教育改革の動向についても考察する。

#### 学修目標

教育の基礎理論に関する科目として、学校教育に関する基本的な法と制度を理解する。

### 内容

1	教育の目的及び理念等に関する法規
2	教育の実施に関わる基本的なこと等に関する法規
3	教育行政機関の仕組み等に関する法規
4	学校の種類・設置等に関する法規
5	学校運営等に関する法規
6	学校教育の目的・目標等に関する法規
7	学級編制等に関する法規
8	学習指導要領等に関する法規
9	教育課程の編成等に関する法規
10	教科書（教科用図書）等の教材に関する法規
11	教職員の組織・職務等に関する法規
12	教職員の人事・サービス等の特例に関する法規
13	就学・入学等に関する法規
14	保健・安全・給食等に関する法規
15	まとめ

### 評価

課題レポートなどの提出物60点、授業への取り組み（小まとめ・小テスト等）40点、などにより総合的に評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

『解説 教育六法』解説教育六法編集委員会 三省堂

『教育法規便覧』窪田真二・小川友次編 学陽書房

科目名	国語		
担当教員名	松木 正子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

- 幼稚園教諭一種及び小学校教諭一種を取得するための必修科目である。
- 小学校の国語科を指導するにあたって、言語に関する一般常識を身につける。
- ことばについての知識や学び方を知る。
- ことばの学びに必要な知識を実践を通して身につける。
- さまざまな言語体験を通して「ことば」に対する関心を高める

内容

1	国語、日本語、ことば
2	文字（ひらがな、かたかな、漢字）
3	文字と親しむ
4	ことばの決まり
5	読む楽しさ（図書館の利用、読み聞かせ、辞書）
6	読書紹介
7	言語事項
8	声に出す（音読、朗読、劇化）
9	演じてみる
10	本づくり
11	新聞を読む
12	古典に親しむ
13	書写（硬筆）
14	書写（毛筆）
15	まとめ

評価

ミニレポート（3割）、実践参加の状況（3割）、最終レポート（4割）

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

小学校学習指導要領解説（国語科）

科目名	算数		
担当教員名	増田 吉史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

幼児期から形成される数学的な概念を、小学校算数科の内容と関連づける。「初等算数科教育」「教材研究(算数)」「授業研究(算数)」へと発展していく。

算数は低学年から高学年の学年進行にしたがって段階的に高度になる。指導の系統を考察し、小学校入学前の幼児期の遊びや生活を通じた数や量の形概念獲得を知る。算数科の学びの基本や、その内容や方法を、「数と計算」「量と測定」「図形」「数量関係」の4領域で考察していく。

幼児期から形成される数学的な概念を、小学校算数科の内容と関連づけ、さらに問題解決学習を体感する。

#### 内容

1	ガイダンス、小学校における算数科の役割と幼児教育
2	学習指導要領における算数、数感覚、個数を数えること、1対1対応
3	幼児の数感覚、十進位取り記数法
4	同じ数ずつの集まり、数の相対的な大きさ
5	どちらが多い、すごろく遊び、ものと数詞の対応、数の表し方
6	幼稚園での遊びの中での数、数概念、数直線
7	数の大小、順序と系列あわせていくつ、ピンゴ・ゲーム
8	幼稚園で数に関わること、加法・減法の意味、加法・減法の計算
9	数の増減、数当てゲーム、整数の性質、問題解決的な学習
10	仲間集めと分類、くらべてみよう
11	身近な量の大きさ
12	比べ方と量の保存、量の測定
13	幼児の図形と空間の感覚、形作り、型押し、影遊び、模様作り
14	幼児児童の数量感覚、変わり方のパターン
15	振り返りとまとめ

#### 評価

小テストや提出物(80%)、試験(20%)で評価し、60%以上を合格とする。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】小学校学習指導要領解説算数編 文科省著(東洋館出版社)

【推薦書】算数科コース別指導による確かな学び、理論編(明治図書)

算数科コース別指導による確かな学び、1-3年実践編(明治図書)

算数科コース別指導による確かな学び、4-6年実践編(明治図書)

科目名	音楽		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-児童教育学科		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

音符やリズムなどを理解して楽譜を読む力をつけ、初等音楽科指導法や保育内容の指導法（音楽表現）の科目の基礎を学ぶ講義である。

初心者から経験者まですべての学生が、音楽理論や読譜力をつけ初見で演奏できるように、また演奏する喜びを得られるよう個人の技量に合わせてピアノの技術を向上させる。

小学校の教育現場や保育現場で最低限でも必要なバイエル・ソナチネ程度のピアノ演奏技術を学び、身につけることが学修目標である。また経験者はさらに技術が向上するよう上級課題をめざす。

#### 内容

楽典や楽譜の読み方などについては、講義形式をとり、ピアノの技術に関しては、個人レッスンの演習形式をとる。ピアノ未経験者や初心者は、「バイエル教則本」の70番から始まり半期で終了することを目標とし、さらに「ソナチネ1」まで進む。

経験者は、技術をさらに向上させるために、個人のレベルに合わせて課題曲を担当教員と相談の上、選曲する。

個人レッスンの形式をとるために、毎回の課題曲は自己練習を行うことで進めていく。

なお、学内のピアノ練習室がいつでも自由に練習することが可能である。

#### 評価

実技試験（70％）通常の授業態度（30％）、三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[テキスト]バイエル教則本（全音楽譜出版） ソナチネ1（全音楽譜出版）

適宜、テキスト・プリントを使用し、授業で紹介していく。

科目名	音楽		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-児童教育学科		
学 年		ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

音符やリズムなどを理解して楽譜を読む力をつけ、初等音楽科指導法や保育内容の指導法（音楽表現）の科目の基礎を学ぶ講義である。

初心者から経験者まですべての学生が、音楽理論や読譜力をつけ初見で演奏できるように、また演奏する喜びを得られるよう個人の技量に合わせてピアノの技術を向上させる。

小学校の教育現場や保育現場で最低限でも必要なバイエル・ソナチネ程度のピアノ演奏技術を学び、身につけることが学修目標である。また経験者はさらに技術が向上するよう上級課題をめざす。

#### 内容

楽典や楽譜の読み方などについては、講義形式をとり、ピアノの技術に関しては、個人レッスンの演習形式をとる。ピアノ未経験者や初心者は、「バイエル教則本」の70番から始まり半期で終了することを目標とし、さらに「ソナチネ1」まで進む。

経験者は、技術をさらに向上させるために、個人のレベルに合わせて課題曲を担当教員と相談の上、選曲する。

個人レッスンの形式をとるために、毎回の課題曲は自己練習を行うことで進めていく。

なお、学内のピアノ練習室がいつでも自由に練習することが可能である。

#### 評価

実技試験（70％）通常の授業態度（30％）、三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[テキスト]バイエル教則本（全音楽譜出版） ソナチネ1（全音楽譜出版）

適宜、テキスト・プリントを使用し、授業で紹介していく。

科目名	音楽		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-児童教育学科		
学 年		ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

音符やリズムなどを理解して楽譜を読む力をつけ、初等音楽科指導法や保育内容の指導法（音楽表現）の科目の基礎を学ぶ講義である。

初心者から経験者まですべての学生が、音楽理論や読譜力をつけ初見で演奏できるように、また演奏する喜びを得られるよう個人の技量に合わせてピアノの技術を向上させる。

小学校の教育現場や保育現場で最低限でも必要なバイエル・ソナチネ程度のピアノ演奏技術を学び、身につけることが学修目標である。また経験者はさらに技術が向上するよう上級課題をめざす。

#### 内容

楽典や楽譜の読み方などについては、講義形式をとり、ピアノの技術に関しては、個人レッスンの演習形式をとる。ピアノ未経験者や初心者は、「バイエル教則本」の70番から始まり半期で終了することを目標とし、さらに「ソナチネ1」まで進む。

経験者は、技術をさらに向上させるために、個人のレベルに合わせて課題曲を担当教員と相談の上、選曲する。

個人レッスンの形式をとるために、毎回の課題曲は自己練習を行うことで進めていく。

なお、学内のピアノ練習室がいつでも自由に練習することが可能である。

#### 評価

実技試験（70％）通常の授業態度（30％）、三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

[テキスト]バイエル教則本（全音楽譜出版） ソナチネ1（全音楽譜出版）

適宜、テキスト・プリントを使用し、授業で紹介していく。

科目名	図画工作		
担当教員名	瀧田 節子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

#### 科目の性格

「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」と、学習指導要領の第1目標に示されている。その 感性 とは、感覚器官を駆使して感じること、イメージを広げて考え、思いを広げること、そして造形行動することである。

身近にある素材から子ども達の造形行動を引き出すことは、日常の授業のためばかりではなく、他の児童(友達)の良さ気づいたり共感できたりする人間力も育てることになる。また、造形行動に潜んでいる内的な世界、情動的な営みも受け止めることができる事が教材研究として重要である。そうした視座に立ち、身近な素材を教材化することを演習も絡めて実践し理解を深めていく。

#### 科目の概要

小学校図画工作科を指導するにはどうすべきか、図画工作美術教育の変遷や学習指導要領に示された目標や内容を読み解きながら、あるいは、映像視聴やディスカッション、模擬授業などをとりいれながら、具体的実践的に学んでいく。あわせて、各領域の実技の基礎基本を習得する

#### 学修目標

小学校における子どもの姿を想定し、図画工作科の目標と学習内容領域の理解を広げ、図画工作科指導に関する知識と具体的な指導法を習得する。

### 内容

- 第1回：「図画工作科教育の意義」映画視聴や学習指導要領解説書により教科目標を考察。
- 第2回：「造形遊びの実際」身近な素材での演習を通して内容A(1)について共感的理解。
- 第3回：「教育の変遷と子どもの表現」作品や活動事例、テキストをもとに語り合う。
- 第4回：「絵や立体、工作に表す活動」両刃鋸で合板を切り分け教材作成。彫刻刀実習。
- 第5回：「絵に表す活動」木版画演習 版画用具一式を正しく安全に扱い、制作。
- 第6回：「絵に表し鑑賞する活動」木版画演習 版画制作と評価。作品を相互鑑賞。
- 第7回：「工作に表す活動」木工作演習 蝶番を使い用途を考えた構想をし、木取りする。
- 第8回：「工作に表す活動」木工作演習 電動糸鋸機や錐、ねじ回しなど木工具を用いる。
- 第9回：「工作に表す活動」木工作演習 電動糸鋸機などで制作と評価。作品の相互鑑賞。
- 第10回：「指導と評価、指導案の実際」観点別評価の理解。学習指導案の作成について。
- 第11回：「指導案の作成」共通の観点を基にグループで意見を出し合い学習を組み立てる。
- 第12回：「指導案の検討」共通の観点を基に意見を出し合い学習を検討する。
- 第13回：「模擬授業1」共通の観点を基に意見を出し合い授業の進め方等を検討する。
- 第14回：「模擬授業2」共通の観点を基に意見を出し合い授業を検討し自分の考えを持つ。
- 第15回：「鑑賞する活動の実際」創造的な鑑賞活動の映像や演習を通し内容Bを理解する。

### 評価

感じ考えたことや実験してわかったことなどを一冊のスケッチブックにまとめ、自分のための資料集とすること(40%)。そのスケッチブックによって造形行動を手がかりとして子ども達と関わる感性、意欲を評価する(30%)。授業内テストによる評価(30%)。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 文部科学省「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(日本文教出版)

推薦書 鈴石弘之ほか「学校で用いる文具・道具の使い方 早わかり」(小学館)

科目名	図画工作		
担当教員名	瀧田 節子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

## ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

### 科目の性格

「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくりだす喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」と、学習指導要領の第1目標に示されている。その 感性 とは、感覚器官を駆使して感じること、イメージを広げて考え、思いを広げること、そして造形行動することである。

身近にある素材から子ども達の造形行動を引き出すことは、日常の授業のためばかりではなく、他の児童(友達)の良さ気づいたり共感できたりする人間力も育てることになる。また、造形行動に潜んでいる内的な世界、情動的な営みも受け止めることができる事が教材研究として重要である。そうした視座に立ち、身近な素材を教材化することを演習も絡めて実践し理解を深めていく。

### 科目の概要

小学校図画工作科を指導するにはどうすべきか、図画工作美術教育の変遷や学習指導要領に示された目標や内容を読み解きながら、あるいは、映像視聴やディスカッション、模擬授業などをとりいれながら、具体的実践的に学んでいく。あわせて、各領域の実技の基礎基本を習得する

### 学修目標

小学校における子どもの姿を想定し、図画工作科の目標と学習内容領域の理解を広げ、図画工作科指導に関する知識と具体的な指導法を習得する。

## 内容

- 第1回：「図画工作科教育の意義」映画視聴や学習指導要領解説書により教科目標を考察。
- 第2回：「造形遊びの実際」身近な素材での演習を通して内容A(1)について共感的理解。
- 第3回：「教育の変遷と子どもの表現」作品や活動事例、テキストをもとに語り合う。
- 第4回：「絵や立体、工作に表す活動」両刃鋸で合板を切り分け教材作成。彫刻刀実習。
- 第5回：「絵に表す活動」木版画演習 版画用具一式を正しく安全に扱い、制作。
- 第6回：「絵に表し鑑賞する活動」木版画演習 版画制作と評価。作品を相互鑑賞。
- 第7回：「工作に表す活動」木工作演習 蝶番を使い用途を考えた構想をし、木取りする。
- 第8回：「工作に表す活動」木工作演習 電動糸鋸機や錐、ねじ回しなど木工具を用いる。
- 第9回：「工作に表す活動」木工作演習 電動糸鋸機などで制作と評価。作品の相互鑑賞。
- 第10回：「指導と評価、指導案の実際」観点別評価の理解。学習指導案の作成について。
- 第11回：「指導案の作成」共通の観点を基にグループで意見を出し合い学習を組み立てる。
- 第12回：「指導案の検討」共通の観点を基に意見を出し合い学習を検討する。
- 第13回：「模擬授業1」共通の観点を基に意見を出し合い授業の進め方等を検討する。
- 第14回：「模擬授業2」共通の観点を基に意見を出し合い授業を検討し自分の考えを持つ。
- 第15回：「鑑賞する活動の実際」創造的な鑑賞活動の映像や演習を通し内容Bを理解する。

## 評価

感じ考えたことや実験してわかったことなどを一冊のスケッチブックにまとめ、自分のための資料集とすること(40%)。そのスケッチブックによって造形行動を手がかりとして子ども達と関わる感性、意欲を評価する(30%)。授業内テストによる評価(30%)。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書 文部科学省「小学校学習指導要領解説 図画工作編」(日本文教出版)

推薦書 鈴石弘之ほか「学校で用いる文具・道具の使い方 早わかり」(小学館)

科目名	生活		
担当教員名	流田 直		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部(2011年度生)-児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選必, 選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 小学校教諭一種免許状		

#### ねらい( 科目の性格 科目の概要 学修目標)

小学校低学年教科の生活科がどのような学習であるかの概要を知り、ねらいや内容を具体的な実習や活動場面に触れることでより詳しく理解し、指導のポイントを身につける。また、仲間と協働してさまざまな体験を通し、これからの生活科のあり方を模索して、教員としての指導力や資質の向上を高めることをねらう。

#### 内容

- 1、本授業の生活についてのガイダンス  
生活の概要、予定、準備等を説明する。
- 2、幼児や低学年児童にとっての遊びや学校生活の意義  
保育の中の子どもや保育者の役割  
幼小連携とは何か
- 3、小学校入門期の指導  
学校生活と入門期の学習  
生活科についての概要(小学校学習指導要領、幼稚園指導要綱のねらいと内容)
- 4、生活科とはどのような教科か  
自然にかかわるねらいと内容  
児童教育畑の実りの採取  
大学キャンパス内の自然見つけと落ち葉の造形製作  
製作にかかわるねらいと内容  
廃品等を利用して製作する  
地域社会にかかわるねらいと内容  
自分の町をマップで表現する  
マップを元に自分の町自慢を発表し合う。
- 5、実際の指導はどのようにするのか  
年間カリキュラム編成の意味と事例研究  
学習指導案の事例から指導案の意義を学びまとめとする。

2回ほど折り紙を折って製作に加える。

#### 評価

毎回課題レポート75%程度、作品他25%程度を総合的に評価する。

#### 教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】 特になし その都度作成資料配付

【参考図書】 学習指導要領・生活科の指導書 「新しい生活」小学校生活科教科書 東京書籍

生活科事典 東京書籍 他の参考図書は授業内で提示する。

科目名	特別支援教育概論		
担当教員名	柳本 雄次、岩井 雄一		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）-児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	特別支援学校教諭一種免許状		

#### ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

障害児教育が「特殊教育」から「特別支援教育」へ制度的転換する中で、従前の特殊教育制度の枠を超えて、地域の通常の学校（学級）においても、特別な支援を必要とする児童生徒への対応が求められています。本科目は、特別支援教育に関する科目の第一欄の特殊教育の基礎理論に関する科目に該当します。

本講義では、特別支援教育の歴史、法制度を概観するとともに、特別な教育的ニーズのある児童生徒に関して、その障害の特性と支援方法を論じ、関係機関との連携の在り方を学びます。

学修目標は、 特別支援教育の基礎を理解すること、 特別支援教育が必要な子どもの障害と教育的支援方法を理解すること、 関係機関との連携について理解すること、の3点です。

#### 内容

1	特別支援教育とは
2	障害児教育の歴史と発展
3	特別支援教育の法制度 学校教育法を中心に
4	特別支援教育体制の現状
5	特別支援教育における教育課程の編成
6	障害の理解と教育的支援1) 視覚障害・聴覚・言語障害
7	障害の理解と教育的支援2) 知的障害
8	障害の理解と教育的支援3) 肢体不自由・病虚弱
9	障害の理解と教育的支援4) 情緒障害・自閉症・高機能自閉症（アスペルガー症候群を含む）
10	障害の理解と教育的支援5) LD（学習障害）・AD/HD（注意欠陥/多動性障害）
11	特別支援教育の展開1) 小・中学校における校内支援と連携システム
12	特別支援教育の展開2) 特別支援学校の地域支援と連携システム
13	特別支援教育における関係機関の連携1) 保育所・幼稚園の活用とその利用
14	特別支援教育における関係機関の連携2) 医療・福祉機関の役割とその活用
15	まとめ

#### 評価

試験による評価（70点）と中間レポートによる評価（20点）、平常の授業態度の評価（10点）により総合的に行います。合格点を60点とし、合格点に満たなかった場合は、再試験を行います。

#### 教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【テキスト（教科書）】使用しません。

【参考図書】湯浅恭正編『よくわかる特別支援教育』ミネルヴァ書房、石部元雄・柳本雄次編著『特別支援教育 理解と推進のために』福村出版、下司昌一編『現場で役立つ特別支援教育八

ンドブック』日本文化科学社

【その他】必要に応じて随時紹介します。

科目名	<b>教職基礎演習</b>		
担当教員名	増田 吉史、高橋 京子、廣坂 多美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部（2011年度生）- 児童教育学科		
学 年	1	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

小学校教員の職務の実際や担任教師の1年間の動きを、「学校教育計画」をもとに、その実際を知る。その後、「教職発展演習」（2年次）、「教職応用演習」（3年次）、または「学級経営法」（3年次）へと発展させていく。

大学に入学したばかりの1年生に、小学校教員の職務の基礎的な事項を、できるだけ実感できるように演習を中心に授業を進行する。小学校12ヶ月の行事を中心に、学校教育計画の実際を元に、教師たちが作成した具体的な資料の実物を参考に、行事の計画書を作成する。具体的には、入学式、始業式、健康診断、遠足、運動会、宿泊行事、授業参観、研究発表会、卒業式などの他、各月独自の行事をあわせた集会などの計画や模擬指導を演習し考察していく。

計画書を作成したり、模擬指導を行うことを通し、小学校教員の職務を理解し、自分が教職にアっているかどうかの判断材料や判断基準を得る。

内容

1	学校の1年（学校教育計画をもとにオリエンテーション）
2	学校の1年（学校教育計画をもとに、計画書作成演習）
3	学校の1年（学校教育計画をもとに、計画書作成演習）
4	学校の1年（学校教育計画をもとに、計画書作成演習）
5	学校の1年（作成した計画書作成をもとに模擬指導演習）
6	学校の1年（作成した計画書作成をもとに模擬指導演習）
7	学校の1年（作成した計画書作成をもとに模擬指導演習）
8	学校の1年（作成した計画書作成をもとに模擬指導演習）
9	担任教師の1年（学校教育計画をもとに、その実際を知る）
10	担任教師の1年（各月独自の行事をあわせた活動の計画書作成演習）
11	担任教師の1年（各月独自の行事をあわせた活動の計画書作成演習）
12	担任教師の1年（各月独自の行事をあわせた活動の計画書作成演習）
13	担任教師の1年（各月独自の行事をあわせた活動計画をもとに模擬指導演習）
14	担任教師の1年（各月独自の行事をあわせた活動計画をもとに模擬指導演習）
15	まとめ

評価

計画書作成や模擬指導など（80%）、試験（20%）によって総合的に評価する。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】小学校学習指導要領解説 総則編

【推薦書】なし